

**横浜開港150周年記念事業コアイベント**  
**ベイサイドステージ（テーマステージ・ベイサイドエリア・特別エリア）**  
**実施業務委託（実施設計策定業務） 業務説明資料**

**1 件名**

横浜開港150周年記念事業コアイベント・ベイサイドステージ（テーマステージ・ベイサイドエリア・特別エリア）実施業務委託（実施設計策定業務）

**2 履行期限**

契約締結日から平成20年3月31日まで

**3 履行場所**

横浜市内

**4 業務目的**

「横浜開港150周年記念事業コアイベント・ベイサイドステージ」の実施計画を踏まえ、広い視野からより質の高い実施設計等を行い、イベント実施に向けた準備を進めます。

**5 業務概要**

別紙のとおり

**6 成果品**

「横浜開港150周年記念事業コアイベント・ベイサイドステージ（テーマステージ・ベイサイドエリア・特別エリア）実施設計」一式

**7 事業計画**

平成19年度 実施設計

平成20年度 制作・実施準備・施設建設

平成21年度 コアイベント実施

\*上記の内容については、一部変更することがあります。

業務概要

<テーマステージ概要>

テーマ・コンセプト・目標	実施計画のポイント	主催者負担	予測 入場者数 (万人)
<p>1 テーマ 『マザーシップ』 横浜の可能性＝たね 可能性を運ぶ力の象徴＝ふね 種が集まり巨大な母なる船を形成 (市民力の結集を象徴)</p> <p>2 事業コンセプト 「マザーシップコンセプト」</p> <p>3 到達目標 「来場者にコアイベントの全体テーマである『出航』やイベントの全体像(連動性)を把握してもらう」</p> <p>4 会期 2009年5月1日～9月27日(予定)</p> <p>5 会場 新港地区8街区</p>	<p>①来場者が港であることを感じることでできる企画の実施と造作デザイン ②会場設営においては、環境にできる限り配慮した材料を使用 ③児童や身障者を含むあらゆる来場者を大切に迎えるユニバーサルデザインと施策に配慮 ④市民参加型の会場づくりの取り組み、横浜の魅力と可能性を発見してもらえるプログラム構築 ⑤ベイサイドステージとヒルサイドステージとの連動性や回遊性を高め、来場者を拡散していく機能 ⑥ゾーニングとして、4つのゾーンを提案 ・マザーシップ体感ゾーン(情報発信・歴史体感) ・マザーシップ体現ゾーン(市民参加のモニュメント:フューチャーセイル150) ・交流&amp;広場ゾーン(ミニステージ、子供用プログラム等) ・ホスピタリティゾーン(食&amp;ショップ等)</p> <p>その他、ベイサイドステージ実施計画を参照</p>	<p>ベイサイドステージ全体で</p> <p>20億円程度</p> <p>※ベイサイドステージ全体で、入場料収入、企業協賛等をあわせた総事業費は50億円～70億円程度と想定</p>	<p>ベイサイドステージ全体で</p> <p>350</p>

<平成19年度実施設計業務概要>

<p>(コンテンツ)</p> <p>①ベイサイドエリアや特別エリア、ヒルサイドステージとの連動性を踏まえたコンテンツ設計 ②①のコンテンツ設計に基づく収支・協賛計画の策定</p> <p>(会場)</p> <p>③会場全体設計 ④(施設を設置・建設する場合の)施設設計(構造物等を含む)</p> <p>(会場運営)</p> <p>⑤会場案内・整理、警備、防災等の会場運営計画の策定 ⑥会場への交通アクセス計画の策定</p> <p>ほか</p>
--

業務概要

<ベイサイドエリア概要>

テーマ・コンセプト・目標	実施計画のポイント	主催者負担	予測 入場者数 (万人)
<p>1 テーマ 『港と歴史』 (『ふね』)</p> <p>2 事業コンセプト 「出会いが作り出す都市の魅力」 「科学が育む都市の創造性」 「港が育てた人と街」</p> <p>3 到達目標 「港を中心に横浜の歴史や横浜らしさを 来場者に体感してもらうとともに、新し い横浜の可能性・文化を国内外に発信 する」</p> <p>4 会期 2009年5月1日～9月27日(予定)</p> <p>5 会場 パシフィコ横浜(展示ホールC) 赤レンガ倉庫(イベント広場A/B) 大さん橋ホール</p>	<p>①マザーシップコンセプトの「ふね」としての役割を担う会場 づくりを目指す。</p> <p>②「ふね」の役割は、さまざまな文化を受け入れ、運び、そし て新しい文化を創造して発信すること</p> <p>③3つのテーマを各会場に付与 ・出会いが作り出す都市の魅力 ～新みなと街文化の創造～ ・科学が育む都市の創造性 ～横浜らしい産官学運動での環境と健康の創造～ ・港が育てた人と街 ～すべてのモノは港から入ってきた～</p> <p>④6つの分野別テーマを設定し、「横浜らしさ」「市民参加型」 「体感・体験」などをキーワードに事業展開を図る。 ・アート系イベント ・環境系イベント ・キッズ系イベント ・国際交流・港町イベント ・音楽系イベント ・スポーツ・健康系イベント</p> <p>その他、ベイサイドステージ実施計画を参照</p>	<p>ベイサイドス テージ全体で</p> <p>20億円程度</p> <p>※ベイサイドス テージ全体で、 入場料収入、企 業協賛等をあわ せた総事業費は 50億円～70億円 程度と想定</p>	<p>ベイサイドス テージ全体 で</p> <p>350</p>

<平成19年度設計業務概要>

<p>(コンテンツ)</p> <p>①企業の出展協賛方式を含む6つの分野別テーマ(アート系、環境系、キッズ系、国際交流・港町、音楽系、スポーツ・健康系)のコンテンツ設計</p> <p>②①のコンテンツ設計に基づく収支・協賛計画の策定</p> <p>(会場)</p> <p>③各会場ごとの設計(構築物等を含む)</p> <p>(会場運営)</p> <p>④会場案内・整理、警備、防災等の各会場ごとの運営計画の策定</p> <p>⑤会場への交通アクセス計画の策定</p>
---

業務概要

<特別エリア概要>

テーマ・コンセプト・目標	実施計画のポイント	主催者負担	予測 入場者数 (万人)
<p>1 テーマ 『まちの賑わい』</p> <p>2 事業コンセプト 「街全体をイベント空間に」 「街が主役の市民参加」</p> <p>3 到達目標 「2009年の年間を通じて賑わいを演出し、市内外から多くのお客様を迎え、各イベントの相乗効果をあげる」</p> <p>4 会期 2009年内</p> <p>5 会場 横浜駅周辺から山手地区までのエリア</p>	<p>①横浜港発祥の地であり横浜の事実上の玄関口である「横浜駅周辺山手地区までのエリア」を「特別(重点)エリア」に指定</p> <p>②テーマステージ、ベイサイドステージ、ヒルサイドステージの各ステージイベントを連動させるとともに、街の賑わいを創出し、面的な盛り上がりを演出することにより、集客や賑わい等の相乗効果を高める。</p> <p>③既存観光施設、商店街、飲食店、ホテル等との協働により、年間を通じた賑わいの演出と市内外からの観光客誘致を図る。</p> <p>その他、ベイサイドステージ実施計画を参照</p>	<p>ベイサイドステージ全体で</p> <p>20億円程度</p> <p>※ベイサイドステージ全体で、入場料収入、企業協賛等をあわせた総事業費は50億円～70億円程度と想定</p>	<p>ベイサイドステージ全体で</p> <p>350</p>

<平成19年度設計業務概要>

<p>(コンテンツ)</p> <p>①エリア内のホテル、商店街、観光施設などとの連携を踏まえたコンテンツ設計</p> <p>②テーマステージやベイサイドエリアとの連動性を踏まえたコンテンツ設計</p> <p>③①及び②のコンテンツ設計に基づく収支・協賛計画の策定</p> <p>④関連施設・事業者等との調整</p> <p>(会場)</p> <p>⑤(個別に会場を設ける場合の)会場設計(構築物等を含む)</p> <p>(会場運営)</p> <p>⑥(コンテンツ設計内容に応じて必要となる)会場案内・整理、警備、防災等の各会場ごとの運営計画の策定、会場への交通アクセス計画の策定</p>
--